



32Ci

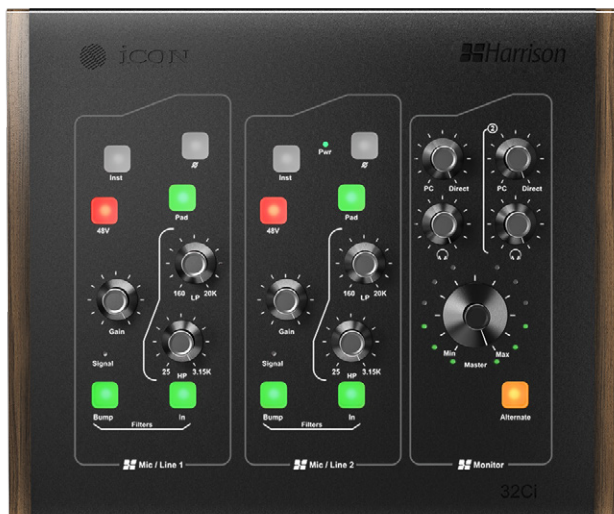
オーディオインターフェイス付きアナログマイクプリアンプ

伝説が再び想像される

32Ci は、目の肥えたエンジニア、プロデューサー、ミュージシャン向けの機能が満載されたプロフェッショナルなハイエンド デバイスです。

同名の世界的に有名なミキシング コンソールの伝説的な Harrison 32C プリアンプについては説明の必要はありません - マイケル ジャクソンの数々の賞を受賞した「Thriller」アルバムや「Bad」アルバム、ポール サイモンの画期的な「Graceland」、その他多数の非常に有名なレコーディングなど AC/DC、ジェネシス、ジャネット・ジャクソン、ELO、レッド・ツェッペリンの作品がその証拠です。

ワールドクラスのコンソールグレードの 32C プリアンプに加え、32Ci は、ハイグレードなローカットフィルターとハイカットフィルター、「パンプ」ボタン (オリジナルの 32C の一般的な変更) など、オリジナルの 32C コンソールからインスピレーションを得た一連の機能を提供します。コンソール、非常に高い AD/DA 変換レート (125dB A-D/129dB D-A)、2 つの Neutrik® コンボ XLR マイクロライン入力コネクタ、切り替え可能なモニタリング オプション、ADAT を含む複数の I/O オプションを備えています。



EN1630



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのおえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

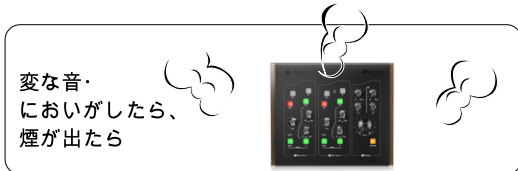
この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理を依頼する



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります	 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="571 751 696 802">注意を促す記号</td> <td data-bbox="703 751 767 802"></td> <td data-bbox="773 751 837 802"></td> <td data-bbox="843 751 907 802"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 812 696 863">行為を禁止する記号</td> <td data-bbox="703 812 767 863"></td> <td data-bbox="773 812 837 863"></td> <td data-bbox="843 812 907 863"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 873 696 946">行為を指示する記号</td> <td data-bbox="703 873 767 946">プラグをコンセントから抜く </td> <td data-bbox="773 873 837 946"></td> <td data-bbox="843 873 907 946">強制 </td> </tr> </table>	注意を促す記号				行為を禁止する記号				行為を指示する記号	プラグをコンセントから抜く		強制
注意を促す記号														
行為を禁止する記号														
行為を指示する記号	プラグをコンセントから抜く		強制											

警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていないので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容

内容	3
はじめに.....	4
付属品をご確認ください	4
32 C プリアンプ	5
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください.....	6
特徴その1	7
特徴その2	9
トップパネル	11
リヤパネル.....	13
フロントパネル.....	16
ハードウェアの接続	17
各種マイクロホン接続図.....	18
OTG 接続	19
仕様	21
修理について	23

はじめに

まず、ICON Pro Audio 32Ci のオーディオインタフェース付きアナログマイクプリアンプのご購入おめでとうございます！これらのページでは、オーディオインタフェース付き 32 Ci アナログマイクプリアンプの機能の詳細、フロントパネルとリアパネルのガイドツアー、セットアップと使用方法のステップバイステップの説明、そして仕様の一覧を紹介しています。

他の電子製品と同様、本製品につきましてもご購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万が一、修理のために製品が返却された場合には、元の梱包材（または適切な同等品）が必要です。適切なケアと適切な空気循環により、32 Ci アナログマイクプリアンプとオーディオインタフェースは、今後数年間完全に動作します。

この製品は何年にもわたって優れたサービスを提供しますが、万が一、製品が最高水準の性能を発揮できなかった場合には、その問題に対処するためにあらゆる努力を行います。

付属品をご確認ください

- 32 Ci マイクプリアンプとオーディオインタフェース
- 本ユーザマニュアル
- USB 2.0 ケーブル (タイプ C)
- 電源アダプタ (12 V DC)

32C プリアンプ

Harrison 32C プリアンプは、その温かみのある透明な音質で非常に高く評価されています。これらはノイズフロアが低く、クリーンで詳細な信号を提供することで知られており、幅広い録音用途に適しています。プリアンプには高品質のトランスが搭載されており、サウンドに豊かで音楽的なキャラクターを与え、録音に深みと暖かさを加えます。

32C プリアンプは幅広い周波数特性を備えており、ソース素材の微妙なニュアンスとダイナミックレンジの両方を捉えることができます。

また、高いヘッドルームを備えているため、歪むことなく高い入力レベルを処理でき、ドラムやエレキギターなどの音量の大きなソースの録音に最適です。全体として、Harrison 32C プリアンプは、録音の品質を向上させるのに役立つ高品質で多用途なプリアンプであると考えられています。

伝説的な 32C コンソールについて詳しくは、Harrison サイトにアクセスしてください。

<https://harrisonconsoles.Com/history/>



伝説のプロデューサー、ブルース・スウェディアンハリソン 32C コンソール

お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください

1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> に進むか、下の QR コードをスキャンします。



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

既存ユーザーの場合：ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合：「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。デバイスのインストールを開始する前に、ドライバなどの必要なファイルをダウンロードしておいてください。

特徴その1

Harrison 32C コンソールは、史上最も有名で高く評価されているレコーディングおよびミキシング コンソールの1つです。この曲は、ほんの数例を挙げると、マイケルジャクソンの「スリラー」、ポールサイモンの「グレイスランド」のほか、ジャネットジャクソン、AC/DC、レッドツェッペリン、ELO、ジェネシス、ブロンディ、スーパートランプなどのレコーディングで使用されました。32C コンソール内に存在した非常に高品位なプリアンプは、iCON Pro Audio と Harrison の共同ブランドである「32Ci Analog Mic Preamp with Audio Interface」に搭載されており、これはオーディオ インターフェースの世界における重要な発展です。

32Ci には、ハイエンド ユーザー向けの機能が満載されています。伝説的な Harrison 32C コンソールとは一線を画すプリアンプを備えているため、同様に超ハイエンドのデジタル-オーディオおよびオーディオ-デジタルコンバーター (DA/AD) を期待するでしょう - そしてまさにそれが得られます。

32Ci は、129 dB のデジタル-オーディオ ダイナミックレンジと 120 dB の THD+N (全高調波歪み+ノイズ) を備え、同クラスの同様のハイエンド デバイスを回ります。32Ci はまた、優れたオーディオ-デジタル変換、つまり 125 dB のダイナミックレンジを実現します。-117 dB THD+N。これにより、32Ci は専用のハイエンドコンバーターに難なく挑戦できる、広がりのある自然なサウンドを提供します

2つの「ヘッドフォン出力」ソケットにより、セッションでの録音時に共同作業者が簡単に作業できます。たとえば、ギタリストとボーカリストと一緒に作業したり、エンジニアとボーカリストと一緒に作業したりする場合、ヘッドフォンの「スプリッター」は必要ありません。接続するだけでヘッドフォンのモニタリングがカバーされます。それぞれが独自のヘッドフォンミックスを持つこともできます (DAW ソフトウェアによって異なります)。

オーディオインターフェイス付き 32Ci アナログマイクプリアンプは、ADAT を備えたユーザーオプティカル I/O と 2つの Neutrik® コンボ XLR マイク/ライン入力コネクタも提供し、XLR 接続と 1/4 インチフォーンジャックを1つのハウジングに組み合わせています。2つの独立した 1/4 インチライン入力として使用できます。4つの 1/4 インチ出力と組み合わせることで、32Ci は I/O ニーズを管理するための十分な範囲を提供します

MIDI 入出力ポートを使用すると、32Ci 経由で MIDI デバイスを直接接続でき、USB C インスタント ライブストリーミング コネクタ ポートを使用すると、インターネットストリーミングサービスに直接接続できます。あなたがインターネットにブロードキャストを行うプロデューサー、エンジニア、またはアーティストであれば、32Ci を介して原始的なオーディオ品質でこれを行うことができます。

32Ci は、ローパスフィルターとハイパスフィルターを含む幅広いコントロールを備えています。フィルターは 32C コンソールから取得されたもので、非常に高品位なツールです。ボーカルの非常に低い周波数をカットしたり (80Hz でカットしたり)、シンバルのきらめきを大幅に低減したりするなど、ソースで信号を処理するのに非常に役立ちます。、 (たとえば、12 ~ 14KHz あたりでカットされます)。

Bump ボタンは、ハイパス フィルター (のみ) のカットオフ周波数でわずかな共振を引き起こします。これにより、カットオフ周波数以下の不要な周波数をフィルタリングしながら、知覚される低音エネルギーの一部を保持することができます。「パンプ」ボタンは 32C コンソールの元のデザインには含まれていませんでしたが、その後一般的に変更されました。

2 つのメイン入力のモニタリングを制御する 2 つの回転ノブがあります。ユーザーは信号をブレンドし、直接信号 (つまり、デバイスに入力される信号) と PC (コンピューターから出力される信号) の間の「スイート スポット」を選択できます。この下には、両方のヘッドフォン出力用のヘッドフォン音量ノブが便利に配置されています。

反応性の高い LED メータリング インジケーターとパッド、インストゥルメント、+48V ファンタム電源、および各 32C プリアンプの極性変更ボタンを備えた頑丈なハイグレード モニター ノブがデバイスの上部に配置されています。ユーザーは、ボタンやノブの高級感に気づくでしょう。すべてのスイッチギアは非常に高い仕様に基づいて製造されています。

切り替え可能なモニタリングにより、エンジニアやプロデューサーは、プロ仕様のモニター (+4) と家庭用グレードのスピーカー (-10) を切り替えることができ、代替スピーカーでミックスを素早く確認できます。これは、「Alternate」ボタンを使用して簡単に実行できます。セカンダリ モニターが取り付けられていない場合、「Alternate」ボタンは事実上、便利な「ミュート」ボタンになります。

超高速で信頼性の高いチップである ARM-M7/500MHz は、非常に安定した信号処理のために内部で使用されています。チップの 2 つのインスタンスが使用されており、1 つは USB 接続用、もう 1 つは背面の独立した Type-C コネクタを介してモバイルデバイス用に使用されます。

Harrison 32C ワークフローは、レコーディングだけでなくミキシング段階でも利用できます、付属の Harrison Vocal Intensity Processor と AVA Live プラグインを使用したステージで、すべて 32C コンソールと同じハードウェア テクノロジーからモデル化されています。利用可能な最初の機会に、これらの優れたプラグインを必ずダウンロードしてインストールしてください。

特徴その2



主な機能：

- 2つの高解像度でスムーズなコンソールグレードのアナログマイクプリアンプとフィルター（マイケルジャクソン、ポールサイモン、ジェネシス、AC/DCがオリジナルの32Cコンソールで使用していたものと同様）
- 独立ゲインコントロールとファンタム電源スイッチ付きデュアル32Cマイク/楽器用プリアンプ
- オリジナルの32Cアナログコンソール後期の改造版で知られている、低周波をカットしながら、プレゼンスを維持するための「Bump」コントロール
- 20dB信号減衰用のパッドスイッチ
- 8チャンネルADATオプティカル
- 最大24ビット/192kHzサンプリングによる2×マイク入力+2×ライン入力+ADAT=12入力、4×ライン出力+ADAT=12出力
- 4×4アナログI/Oフルデュプレックス同時録音・再生
- 129dBの高ダイナミックレンジのプロフェッショナル向けハイエンド・ハイグレードDA
- 129dBの高ダイナミックレンジのプロフェッショナル向けハイエンド・ハイグレードAD
- スマートデバイスと同時に動作するMac/PC接続機能をサポート
- iCON iO Proソフトウェアによる音声信号処理が可能なリアルタイムセッション
- Mac/Windows接続をしながらスマートデバイスを同時使用可能（OTG接続、iOS/Androidとの互換性）
- 1/4インチTRSジャックの4個のアナログ出力
- 2xMIDI IN/OUT 5ピンDINコネクタ
- モニタボリュームコントロールつまみ
- 異なるモニタリング設定を切り替えるための「Alternate」ボタン
- 非常によく構築された堅牢なスイッチギアと表面

- 2つの個別音量制御付きヘッドホン出力
- iCON iO Pro ソフトウェアによる柔軟なチャンネルルーティング。
- iCON Pro Audio が開発した超低レイテンシーの ProDriver4™ ドライバを含む
- iCON Pro Audio の革新的で多機能、ユーザーフレンドリーな iO Pro ソフトウェア (Windows と MAC)
- ARM-M7/500MHz の処理能力と技術により、超高速で安定した信号処理を実現
高速 USB2.0 装着。USB バス電源。-チップの2つのインスタンスが使用され、1つは USB 接続用、もう1つは背面の独立した Type-C コネクタ経由のモバイルデバイス用です。
- +4/-10 ボタン (入力 3+4)
- DirectSound、WDM、ASIO2.0 をサポート。
- LoopBack 機能は、Mac/Windows 両対応の iCON I/O Pro を搭載。
- MacOS 10.15 or above & Windows 10 以上に対応
- iOS で使用する場合の外部電源用 +12VDC 電源コネクタが装着されています。
- 頑丈で高品質な構造
- バンドルされたプラグインには次のものが含まれます : Harrison Vocal Intensity Processor および AVA Live



32C AVA Live

トップパネル



1. インストゥルメントスイッチ

「Mic/Instr」1/2 入力を、XLR/Mic +48v 入力の代わりに専用の Hi-Z 楽器入力に切り替えます。

2. 極性スイッチ

チャンネル信号の極性を反転します。一般に、この関数は位相キャンセルの問題を修正するために使用されます。

3. 48V ファンタム電源スイッチ

このスイッチを押すと、それに関連した XLR 入力に 48V ファンタム電源が供給されます。このファンタム電源はほとんどのコンデンサマイクに使用できます

4. パッドスイッチ

これにより、信号は 32Ci 内のマイクプリアンプ回路に到達する前に 20dB 減衰します。

5. ゲインコントロール

このポテンショメータは、選択したチャンネルの入力のゲインを制御します。

6. 「In」 ボタン

「In」 ボタンを選択すると、ハイパス フィルターとローパス フィルターの両方が作動し、1970 年代のオリジナルの Harrison 32C コンソールの動作と一致します。ボタンがオフになっている場合、フィルター（およびバンプ）は信号に影響を与えません。

7. LP ノブ (ローパスフィルター)

カットオフ周波数以下の信号のみを通過させる回路。LP ノブを押し、その上のすべての信号を減衰させます。

8. HP ノブ (ハイパスフィルタ)

HP ノブで選択できるカットオフ周波数以上の信号のみを通過させ、それ以下の信号はすべて減衰させる回路。

9. 「Bump」 ボタン

これにより、ハイパス フィルター (のみ) のカットオフ周波数でわずかな共振が発生します。これにより、カットオフ以下の不要な周波数をフィルタリングしながら、知覚される低音エネルギーの一部を保持することができます。

「Bump」 ボタンはオリジナルの 32C アナログ コンソールには装備されていませんでしたが、その後は一般的に改良されました。

10. PC/Direct ノブ

このノブは、PC からの信号と 32Ci への入力をブレンドします。

11. ヘッドフォンの音量コントロール

1 つまたは 2 つのステレオ ヘッドフォンを 2 つの 1/4 インチ TRS ジャックソケットに接続し、これらのノブで音量を調整します。ヘッドフォン出力は、それぞれアナログ出力 1/2 および 3/4 にルーティングする必要があります (ステレオペアとして)。

12. Master ノブ

このノブはメイン出力 1/2 の音量を制御します。ただし、「Alternate」ボタンが選択されていない場合、ノブは出力 3/4 を制御します (出力 3+4 にモニタリングが設定されていない場合、「Alternate」ボタンは選択されます)。「」ボタンは事実上「ミュート」ボタンになります)。周囲の LED ライトは、応答性の高い左 + 右チャンネルメーターリングを提供します (LED で示される 6 つのセグメント (-20dB、-10dB、-6dB、0dB、+6dB、+10dB))。このメーターリングは、「モニターミックス」のレベルを示します。' がスピーカーに送信されます。つまり、直接入力と PC 再生の結合レベルを示します。

Note: ミックスノブを「Direct」まで回し、マイクに向かって話す (または楽器またはライン入力ソースを使用する) 場合、ユーザーはマイク/インストゥルメント/ライン入力レベルを設定するためのレベルメーターの恩恵を受けることができます。

13. 「Alternate」 ボタン

出力 1/2 と出力 3/4 を介して 2 つの個別のモニタリング オプションを切り替えるには、このボタンを選択します。メイン出力レベル (1/2) は「+4」で、「ブローレベル」のスピーカー向けです。「Alt」出力の出力レベルは「-10」です。これは、トリム範囲が限られており、「+4」信号を入力すると大きすぎる民生用システムやスピーカーに適しています。

リヤパネル



1. 電源コネクタ

32Ci (付属) に電力を供給するには、+12V DC 電源アダプタが必要です。

(注意: 交換用電源アダプターは、お近くの ICON 代理店 / ディーラーから購入できます)

2. USB コネクタ (タイプ C)

付属のケーブルで、本器とご使用の Mac または PC または iOS デバイスカメラキットの USB コネクタとを接続します。ご使用の Mac または PC が USB2.0 接続可能でなければ、32Ci をフルスピードで動作させることはできません。

3. Mobile Out (デジタル - タイプ C およびアナログ - 3.5mm TRRS)

これらのポートを使用すると、スマートデバイスや Mac/PC を同時に接続することができるため、ライブストリーミング用途でスマートデバイスにオーディオ信号を送信する前に、Mac/PC で信号を処理することができます。

デジタル - スマートデバイスのデジタルジャックに直接接続できるタイプ C ジャック (OTG アダプターが必要)

アナログ - スマートデバイスのオーディオ I/O に直接接続できる TRRS ステレオジャック

4. ADAT 入出力

最大 8 チャンネルの Toslink コンバーターを備えた光ケーブルを介して、ADAT 搭載デバイスをここに接続します。

5. MIDI I/O コネクタ

MIDI 入出力用標準 5 ピン DIN コネクタ。

6. 出力

MAIN L/R - +4dBu ラインレベルの 1/4 インチバランス TRS コネクタのバランスアナログ出力です。これらの出力は通常、メイン モニターに接続する必要があります (この接続は「プロ」レベルのモニター用に設計されています)。

ALTERNATE L/R - これらの出力は、一対の代替モニターに接続できます。

Alternate 監視オプションは、「Alternate」ボタンを押すとトリガーされます。代替モニタリングが接続されていない場合、「Alternate」ボタンを押すと、事実上、メイン L/R モニターの「ミュート」ボタンになります。

注意:メイン出力レベルは「+4」で、「プロレベル」のスピーカー向けです。「Alternate」出力の出力レベルは「-10」です。これは、トリム範囲が限られている、および/または「+4」信号が供給されたときに大きすぎる民生用システムおよび/またはスピーカーに適しています。スピーカーが1組しかない場合は、セットアップに最も適した接続を使用でき、Alternate ボタンが効果的にミュート スイッチになります。

7. 入力 3+4

これらは、標準の 1/4 インチ バランス TRS コネクタのバランス アナログ入力で、「+4」と「-10」の間で切り替え可能です(隣のボタンを使用)。「+4」設定はプロ用デバイス(ハイエンドマイクプリアンプの出力など)に適しており、「-10」設定は民生用デバイスに適しています。

ライン入力 3+4 の想定される用途の 1 つは、キーボードシンセやドラム マシンです。このシナリオでは、「-10」スイッチはシンセなどにより適切なゲインを提供する役割を果たし、フロントパネルのノブを使用してマイク/インストラ入力とのレベルマッチングを向上させることができます。15 ページの実例を参照してください。

8. +4/-10 スイッチ

このボタンを使用すると、上で説明したように、ライン入力 3+4 の入力感度を「-10」から「+4」の間で選択できます。このスイッチは、入力 3+4 の両方に同時に影響します。

9. 「Mic/Inst」入力 1/2

これらはアンバランスインストゥルメントレベル入力とバランスマイクレベル入力で、32C プリアンプに接続されます。これらのハイブリッド コネクタは、標準の 3 ピン XLR プラグまたは 1/4 インチ TS コネクタを受け入れます。内側の 1/4 インチコネクタは Hi-Z 楽器レベル入力専用で、XLR はマイク用です。

「Instr」スイッチを選択すると、プリアンプは XLR/Mic +48v 入力ではなく、専用の Hi-Z インストゥルメント入力に切り替わります。

注意: ラインレベル入力(ミキサー、CD プレーヤーなどからのソース)に関しては、デバイスの背面にある専用のバランス ラインレベル入力コネクタを使用するのが最良のオプションです。

あるいは、PAD を有効にしてバランス XLR 入力を使用することもできます。XLR に接続されたラインレベル信号には、マイクプリアンプのゲインにより、ノイズがわずかに高くなります。ただし、これによりユーザーはレベル コントロール、極性、フィルターを調整できるようになります。ただし、全体として、「インストゥルメント」の 1/4 インチ プラグはラインレベルのソースへの接続には推奨されません。

「ライン入力」と「楽器入力」の違いの簡単な説明

「ライン入力」と「インストゥルメント入力」はオーディオインターフェイスの入力の 2 種類であり、受信できる信号の種類が異なります。

ライン入力は、ラインレベル信号を受信するように設計されています。ラインレベル信号は、前置増幅された信号であり、機器レベルの信号よりも高い電圧を持っています。ラインレベル信号は通常、ミキサー、CD プレーヤー、その他のオーディオ再生デバイスなどのソースに使用されます。ライン入力は通常、TRS (Tip-Ring-Sleeve) コネクタを受け入れるバランス入力です。

一方、インストゥルメント入力は、より低いレベルの楽器レベルの信号を受信するように設計されています。このタイプの信号は、ギター、ベース、キーボード、その他の電子楽器などの楽器によって生成されます。機器レベルの信号は通常アンバランスです。つまり、信号線が 1 本とアース線が 1 本しかありません。インストゥルメント入力は通常、アンバランス TS (Tip-Sleeve) コネクタです。

要約すると、オーディオ インターフェイスのライン入力とインストゥルメント入力の主な違いは、受け入れることができる信号の種類です。ライン入力はラインレベル信号用に設計されており、インストゥルメント入力はインストゥルメントレベル信号用に設計されています。

入力 3/4 と -10/+4 スイッチの使用

現実世界の例:

ショーンはインプット 3+4 でドラムマシンを使用しています。ドラムマシンの出力音量が比較的小さいため、ハイゲインマイク入力のレベルを超えるとショーンにはほとんど聞こえません。ショーンはドラムマシンのプラグを安全に抜き、-10 スイッチを選択してドラムマシンを再び接続します(耳の安全を守るために、最初にマスターノブとヘッドフォンのボリュームが下がっていることを確認します)。-10 スイッチは、高ゲインのマイクや楽器の入力と競合できるように、ライン入力に追加の「ブースト」を与える必要があることを 32Ci に伝えます。Sean は、トップパネルの「Gain」ノブを使用して、入力 3+4 と入力 1+2 のバランスをより適切に調整できるようになりました。

注意: -10 (民生機レベル) スイッチがオンになっている場合、入力信号はアンバランスになることが予想されます。スイッチを +4 の位置にすると、入力信号はバランスが取れていることが期待されます。これは、消費者向け機器とプロ向け機器の予想される動作と一致します。

フロントパネル



1. ヘッドホン出力

標準 1/4 インチ TRS ヘッドホンコネクター接続用出力ジャック

ヘッドホン出力1は、DAW ミックス 1/2 (DAW のメイン出力) から供給されます。

ヘッドホン出力2は DAW ミックス 3/4 によって供給されます。つまり、ヘッドホンユーザーごとに2つの異なる DAW ミックスと PC/ ダイレクトブレンドを効果的に使用できるようになります (たとえば、ヘッドホンユーザー1のユーザーがエンジニアであり、ヘッドホンユーザーである場合に特に便利です。2のユーザーは歌手です)。

ハードウェアの接続

オーディオインタフェース出力付き 32 Ci アナログマイクプリアンプをアンプ、アクティブディスプレイ、またはサラウンドステレオシステムに接続します。デフォルト出力はチャンネル 1 と 2 です。Alternate ステレオ出力 (3/4) を使用して、Alternate モニタリング設定を選択できます。

メイン出力 (1/2) は +4 で、プロレベルのスピーカーに適しています。Alternate 出力 (3/4) は -10 で、民生用スピーカーやトリム範囲が限られているスピーカー、および / または +4 信号を供給するには大きすぎるスピーカーに最適です。

ヘッドホンでモニタする場合、デバイスのヘッドホン出力にヘッドホンを接続してください。HP 出力 2 は DAW 出力 3/4 のみから供給されます。

デバイスのアナログ入力には、マイクや楽器、またはその他のラインレベルアナログソースを接続してください。ファンタム電源を必要としないマイクの場合は、+48V スイッチがオフになっていることを確認してください。

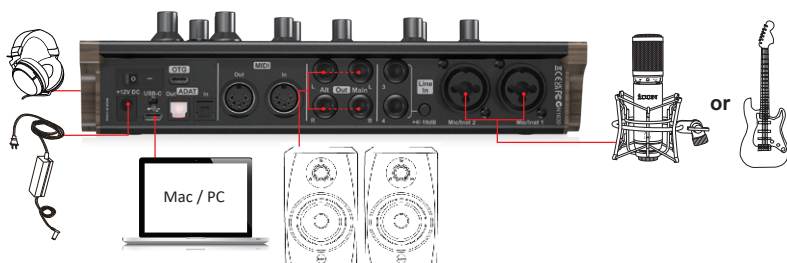
Connect your MIDI device to the MIDI I/O



Connect OTG devices via Mobile Out (Digital)



Connect to a Microphone or Instrument



各種マイクロホン接続図



注意: ダイナミック・マイクロホンをお使いになる場合には、マイクロホンが破損することがあるので、接続前に必ず +48V ファンタム電源スイッチを「オフ」にしてください。

OTG 接続



「OTG」接続は 32Ci 経由で利用できます。

「OTG」は「On-The-Go」の略です。これは、多くの最新のスマートフォンやタブレットで利用できる機能を指します。OTG を使用すると、これらのデバイスが「ホスト」として機能し、さまざまな USB 周辺機器に接続して対話できるようになります。32Ci の「OTG」機能により、ユーザーは 32Ci の優れたオーディオ機能を活用してソーシャルメディアでブロードキャストすることができます。

この機能を使用するには、特別な OTG ケーブルを使用する必要があります。標準の USB ケーブルは機能しません。「OTG」ケーブルには携帯電話コネクタに追加のピンがあり、デバイスが「ホスト」として機能できるようになります。

1. スマートフォンまたはタブレットが OTG 機能をサポートしていることを確認します。ほとんどの新しい Android デバイスは OTG をサポートしていますが、デバイスの仕様またはマニュアルでこれを確認することを常にお勧めします。
2. OTG ケーブルを入手します - 接続するには Apple カメラキットが必要です。
3. 32Ci の電源をオンにします。USB C ポート経由で 32Ci を接続します。
4. OTG ケーブルのもう一方の端を携帯電話またはタブレットの充電ポートまたはデータポートに差し込みます。デバイスは 32Ci を自動的に認識するはずですが
5. デバイス上で選択したストリーミングまたは録音アプリケーションを起動します。
6. デバイスから音声を受信しているかどうかを確認します。携帯電話 / デバイスで 32Ci の出力を聞くことができるか、および / または出力の信号を確認できるはずですが (使用しているアプリによって異なります)
7. ストリーミングを 32Ci からの音声出力がブロードキャストに反映されます。
8. ブロードキャストが完了したら、32Ci を安全に取り出します。通常、USB「周辺機器」を取り出すか安全に取り外すオプションは、デバイスの設定または通知パネルにあります

上記の手順は、モバイル / タブレット デバイスのメーカー、モデル、オペレーティ

ングシステムのバージョン、ストリーミング アプリケーションによって若干異なる場合があることに注意してください。さらに、一部のモバイル デバイスやタブレット デバイスには特定のドライバーが必要な場合や互換性制限がある場合があるため、すべてのモバイル デバイスやタブレット デバイスが OTG で動作することが保証されているわけではありません

OTG 接続を使用する場合は、Apple Camera kit デバイスが必要であることに注意してください。

仕様

32Ci Technical Specifications	
I/O	
Microphone Inputs (XLR - balanced)	Two
High Impedance (Hi-Z) Instrument Inputs	Two
Analog Line Inputs	Two
Analog Monitor Outputs (DC coupled)	Four (two stereo pairs Main & Alt)
MIDI IN	One
MIDI OUT	One
Digital Input Port	One (ADAT)
Digital Output Port	One (ADAT)
Analog Output Port	One (USB OTG)
Audio to Digital Conversion	
Dynamic Range	125dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-125dB, A-weighted
Total Harmonic Distortion + Noise	-117dB, -1dBFS
Digital to Audio Conversion	
Dynamic Range	129dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-129dB, A-weighted
Total Harmonic Distortion + Noise	-120dB, 1dBFS
ANALOG I/O	
Mic Inputs (XLR balanced)	
Frequency Response	20Hz to 20kHz (+/-0.1dB)
Minimum voltage gain	0dB (fader @ unity, -20dB pad)
Maximum voltage gain	70dB (fader @ unity, no pad)
Nominal input level	-16dBu through -66dBu (fader @ unity, no pad, @ +4dBu output)
Maximum input level	+18dBu (fader @ unity, -20dB pad)
Expected source impedance	150 to 200 Ohms
Actual load impedance	1200 Ohms
Instrument Inputs 1/4	
Frequency Response	20Hz to 20kHz (+/-0.1dB)
Input Impedance	1M Ohms, typical
Maximum input level	+18dBu (fader @ unity, -20dB pad)
Line Inputs 1/4	
Frequency Response	20Hz to 20kHz (+/-0.1dB)
Maximum level	+24dBu
Nominal input level	+4dBu
Expected source impedance	1000 Ohms or less
Actual load impedance	10 kOhms
Line Outputs 1/2 (6.35mm TRS, Balanced)	
Frequency Response	20Hz to 20kHz (+/-0.1dB)
Maximum level	+24dBu
Nominal input level	+4dBu
Minimum load impedance	600 Ohms

Headphone Outputs: (Stereo, Unbalanced)	
Frequency Response	20Hz to 20kHz (+/-1dB)
Load Impedance	16 to 600 Ohms
Maximum Output Level	+21dBu, no load +21dBu, 600Ohms (11.4Vrms) +20dBu, 100 Ohms (10Vrms) +14.6dBu, 32 Ohms (5.4Vrms) +8.6dBu, 16 Ohms (2.7Vrms)

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<https://support.iconproaudio.com>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。
<http://support.iconproaudio.com> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。照会チケットをお送りいただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
3. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

香港にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
ICON (Asia) Corp:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

北米にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
ICON Service Centre
Mixware, LLC – U.S. Distributor
3086 W. POST RD.
LAS VEGAS NV 89118
Tel.: (818) 578 4030
Contact: www.mixware.net/help

ヨーロッパにお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
Sound Service
GmbH European
Headquarter Moriz-Seeler-Straße
3D-12489 Berlin
Telephone: +49 (0)30 707 130-0
Fax: +49 (0)30 707 130-189
E-Mail: info@sound-service.eu

4. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.iconproaudio.com) をご覧ください。



<p>天猫官方旗舰店</p>  <p>天猫店艾肯旗舰店</p>	<p>抖音号</p>  <p>抖音iCON艾肯</p>	<p>哔哩哔哩</p>  <p>B站iCONProAudio</p>	<p>微信公众号</p>  <p>微信号iCON-PRO</p>	<p>官方售后QQ</p>  <p>4006311312.114.qq.com</p>
--	--	---	---	--

中国地区用户

<p>Twitter</p>  <p>www.twitter.com/iconproaudio</p>	<p>Instagram</p>  <p>www.instagram.com/iconproaudio</p>	<p>Facebook</p>  <p>www.facebook.com/iconproaudio</p>	<p>Youtube</p>  <p>www.youtube.com/iconproaudio</p>
--	--	---	--

<p>Website</p>  <p>www.iconproaudio.com</p>	<p>Support</p>  <p>support.iconproaudio.com</p>	<p>Dashboard</p>  <p>iconproaudio.com/dashboard/</p>
--	--	--

www.iconproaudio.com